

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	4	3	総合探究科文系

使用教科書	副教材等
日本史探究（実教出版）	新詳日本史（浜島書店）

科目の目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	
①知識・技能：小テスト、定期試験 ②思考・判断・表現：定期テスト、提出物、対話活動での活動観察 ③主体的に学習に取り組む態度：授業への取り組み状況、提出物の提出状況、授業の振り返り	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第2部 中世の日本と世界					
	第1章 荘園公領制の成立と院政		・ 貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解できる。 ・ 権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ・ 時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現することができる。	○	○	
	第2章 中世の国家・社会の展開	1. 鎌倉幕府の成立と朝廷	・ 武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解できる。 ・ 公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	
		2. 中世に生きる人々			○	○
		3. 蒙古襲来と幕府の衰退		○	○	○
		4. 鎌倉文化		○	○	○
5	第3章 中世の国家・社会の変容	1. 南北朝の動乱	・ 武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解できる。 ・ 社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	
		2. 室町幕府の政治と外交		○	○	○
		3. 室町社会の展開と応仁の乱		○	○	
		4. 室町文化		○	○	
	中間テスト					
		5. 戦国大名の分国経営		○	○	○
	第2部 まとめと展望			○		○

6	第3部 近世の日本と世界				
	第1章 東アジアの世界の 変容と天下統一	1. 織豊政権	・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解できる。 ・村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ・時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現することができる。	○	○
		2. 天下統一の完成		○	○
		3. 近世成立期の文化		○	○
	第2章 幕藩体制の成立と 展開	1. 幕藩体制の成立	・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解できる。 ・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係，社会・経済の仕組みの変化などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○
		2. 貿易の統制と対外関係		○	○
		3. 近世社会のしくみ		○	○
	期末テスト				
	第2章 幕藩体制の成立と 展開	4. 幕府政治の展開		○	○
		5. 経済の発展		○	○
		6. 元禄文化と学芸の発展		○	○
9	第3章 近世の国家・社会 の変容	1. 幕藩体制の動揺と幕政の改革	・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解できる。 ・社会・経済の仕組みの変化，幕府や諸藩の政策の変化，国際情勢の変化と影響，政治・経済と文化との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○
		2. 欧米列強の接近と天保の改革		○	○
		3. 近世文化の成熟と変容		○	○
	第4部 近現代の地域・日本と世界				
	第1章 開国から倒幕へ	歴史資料と近代の展望	・対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に，近世から近代への時代の時代の転換を理解できる。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，政治・経済の変化と思想への影響などに着目して，近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ・時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現することができる。	○	○
10	第2章 明治維新	1. 明治維新 2. 文明開化	・明治維新，自由民権運動を基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 ・文明開化の風潮を理解できる。 ・欧米の思想・文化の影響，産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○
		中間テスト			
	第3章 近代国家の形成	1. 立憲国家への道	・大日本帝国憲法の制定，条約改正，日清・日露戦争などを基に，立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解できる。	○	○
		2. 議会政治の展開と日清・日露戦争	・産業革命の展開，交通の整備と産業構造の変容，交通の整備と産業構造の変容，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解できる。	○	○
		3. 産業革命と社会の変化	・アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○
		4. 近代文化の形成と展開	・欧米の思想・文化の影響，産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○

11	第4章 両大戦間の日本	1. 第一次世界大戦	・第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解できる。 ・学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解できる。 ・恐慌と国際関係などを基に、第二次世界大戦に至る過程を理解できる。	○	○	○
		2. 政党政治の展開	・アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	○
		3. 市民文化の展開	・地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	○
	第5章 十五年戦争と日本	1. 満洲事変	・軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解できる。	○	○	
		2. 日中戦争	・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	
		3. アジア・太平洋戦争（太平洋戦争）		○	○	○
12	期末テスト					
	第6章 戦後日本の形成	1. 占領と民主改革	・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解できる。	○	○	
		2. 独立と日米安保体制の形成	・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。	○	○	○
		3. 高度経済成長下の日本		○	○	
1	第7章 グローバル化のなかの現代日本	1. 「国際化」する経済大国	・社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解できる。	○	○	○
		2. 新たな世紀の日本へ	・冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、政治の展開、日本経済の発展、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。		○	○
	第4部 まとめ			○		○
	現代の日本の課題の探究		・歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解できる ・歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現することができる	○	○	○
2	学年末テスト					